

<学習目標>

**医療的ケアを安全・適切に実施するための必要な知識・技術を習得する**

・事前配布資料

- ①本資料
- ②経管栄養（胃瘻・経鼻）手順
- ③喀痰吸引（口腔・鼻腔・気管カニューレ内部）手順
- ④胃瘻・喀痰吸引の図
- ⑤評価票（胃瘻・経鼻経管栄養・口腔内吸引・鼻腔内吸引・気管カニューレ内部吸引の計5枚）  
事前に5枚すべての用紙にボールペンで日付・氏名・1回目「ウ」と記入
- ⑥一次救命処置（BLS）手順

※研修当日は忘れずに全て持参してください。

- ⑤の用紙は5枚すべて最終的に提出していただきます。

・タイムスケジュール（当日の進行度によって前後する可能性あり）

- 9:30～ 9:45 経管栄養・喀痰吸引について説明（15分）
- 9:45～13:20 経管栄養演習（3時間35分）（手順1～6、7～10、11～15、16～17、18～22と分けて実施）
- 13:20～14:05 昼休憩（45分）
- 14:05～17:40 喀痰吸引演習（3時間35分）（手順1～4、5～13、14～22、23～27、28～33と分けて実施）
- 17:40～17:55 救急蘇生（15分）
- 17:55～18:00 アンケート記入（5分）

※時間がかなりタイトになっています！

研修までに必ず手順を覚えてきてください！！

そうでないと、研修を修了することがかなり困難です！

・演習評価方法

「ア」「イ」「ウ」の3段階で評価

- ・「ア」…手順通りに実施できている
- ・「イ」…この項目について、手引きの留意事項や発言などの手順を抜かしたり、手順を間違えた。
- ・「ウ」…この項目について、完全に抜かした、忘れた。

・合格基準

- ・5回目以降で全項目が「ア」になること（講師評価）

※4回目で評価が「ア」または「イ」であること必須。（4回目までは受講生同士での確認可）

4回目以降で「ウ」がある場合は、「ア」または「イ」になるまで実施する。

## ◎滴下数の計算方法

$$1 \text{ 秒間の滴下数 (滴/秒)} = \frac{\text{投与する栄養剤量 (ml)} \times 1 \text{ ml の滴下数 (本研修では 20 滴/ml)}}{\text{投与時間 (秒)} [( \text{秒} ) = \text{投与時間 (時間)} \times 60 ( \text{分} ) \times 60 ( \text{秒} )]}$$

例) 360ml の栄養剤を 2 時間で投与

$$\frac{360 \text{ (ml)} \times 20 \text{ (滴/ml)}}{2 \text{ (時間)} \times 60 \text{ (分)} \times 60 \text{ (秒)}} = \frac{7200}{7200} = 1 \text{ (滴/秒)} = 1 \text{ 秒 1 滴で投与}$$

※計算後、整数にならない場合は、数えやすい数字に置き換える。

例) 240ml の栄養剤を 1 時間で投与

$$= 4/3 \text{ (1.3333...) (滴/秒)} = 3 \text{ 秒 4 滴で投与}$$

## ◎医学的な「清潔」と「不潔」の定義

一般的な「清潔」…アルコール除菌で拭いた机、手洗いした手、洗った後の食器 etc...

これらは全て医学的には「不潔」です！！

⇒なぜこのように考えるのか…使用する物品には無菌状態（菌が全くない状態）のものが多く、  
病原微生物の侵入や接触感染を防ぐことが重要だから

そのため、清潔エリアと不潔エリアを分けて、処置を実施しています。

本研修で、無菌操作が必要なのは、気管カニューレ内部吸引のみですが、自分の持っている菌を利用者に感染させないことも医療的ケアを安全に実施することの一つなので、すべてのケアにおいて、  
何(どこ)が「清潔」でなければならない、何(どこ)が「不潔」なのか考えながら演習を実践してください。